

会議結果報告書

作成者:総合政策課 前田

報告日:令和7年3月26日(水)

会議名	第48回広陵町地域公共交通活性化協議会
会議日	令和7年3月26日(水) 10時から11時30分まで
場 所	広陵町役場 大会議室
出席者	別紙のとおり委員14名 企画総務部 藤井部長 総合政策課 芝課長、岡崎、前田主事
町長あいさつ ・公共交通活性化協議会も開催回数が多くなり歴史のあるものになってきた。 ・公共交通は使う方にも使わない方にも関係する者であるので、委員の皆さまの意見を頂戴して、維持に努めて参りたい。 議題 令和7年度広陵町地域公共交通活性化協議会予算(案)について →意見・質疑あり 承認 ○会長 町の受け入れ科目は？ →財政係とは雑収入になると相談済み →(芝課長補足)前回資料で説明させていただいたフィーダー補助金、奈良交通で受けていただいた分と町で受けていた分が協議会で受けることになる。 令和7年度広陵町地域公共交通活性化協議会事業計画(案)について →意見・質疑あり 承認 ○議会谷議長 箸尾工業団体について造成工事が完了して企業参入が始まるので、勤める方を把握しているのか？ →現時点では企業に対してアプローチはできていないが、先日、進出企業の顔合わせの会があったと聞いているので、その会への出席や個別での協議を行いたい。 ○議会谷議長 雇用と機械化が進んでいるので、交通分野だけでなく、教育の部門等にも波及すると思うので、先手を打って進めてもらいたい。 ○区長・自治会長会塚本区長 陣痛タクシー、乳幼児タクシー事業など切れ目のない事業をされており、子育てしやすい町とし	

てPRできるものである。

参入企業の通勤手段についてどのように考えられているのか？

モビリティマネジメントについて、公共交通の需要は把握されているのか

→事業所に対する通勤方策について、造成前に立地企業を選定しており、必要な駐車場規模、公共交通利用者(想定)を把握している。

モビリティマネジメントについて、需要について、前回会議でも説明させていただいたが、利用者は前年度比で増加しており、周知活動も引き続き行っている。高齢者の方が中心であるので、潜在ニーズがあると考えている子育て世代に向けてマネジメントしたい。

○商工会乾会長

シェアサイクルについて、最近よく見かけるが、乗車時のヘルメットはどのように取り扱っているのか？

→今回の事業について事業主体は民間企業であり、ヘルメット着用の議論はしているが、事業者としてヘルメットの貸出は難しいということであったので、周知の中でヘルメット着用を促している。

○奈良交通堀川課長

モビリティマネジメントについて、小学生の時から公共交通(バス)に慣れ親しんでいただいて、高校生やバスを使うようになったときにスムーズに乗ってもらえるように乗り方教室を長年実施している。現在は、運転者不足でもあるので、職業選択の観点からも運転者を選択

○タクシー協会葛城理事

箸尾工業団地の関係でエコ通勤ということで、電車に乗ってきてもらうような説明をしてもらいたい。どうしても自家用車でないといけない方以外は電車、コミュニティバスで来てもらうように。利用者が減少し、便数が減るとより不便になるのでより利用が促進されるようにすべき。

○愛和交通唐澤氏

のるーと、陣痛タクシーに関わることになる。今後子育て世代にタクシーを使ってもらえるようになれば、暮らしやすいまちとなり、タクシー需要の拡大に繋がる。

○山村会長

夜間のタクシーが呼びにくい

→ドライバーの高齢化に伴い危険が伴うため、配車数が確保できないため、日中が中心になっている。

○老人会笹井会長

早朝のタクシー(7時台)の事情はどうなっているのか？

→(愛和)ドライバーの確保ができない。本来は1台に対してドライバー2人が理想だが、1台に1人になってしまっており、勤務時間が限られているので、日中が中心になってしまう。

→(タクシー協会)働き方改革で労働時間(拘束時間)が短くされている。日中は市町村の公共交通が運行しているので、タクシーを使う機会はないと思うので、変則の勤務時間に変えられるよう調整しているが、現行では難しい。

○労働組合協議会渡邊局長

箸尾工業団地の周辺の交通環境が変わってくると思うので、渋滞が起きたりと物流への影響が出ると思う。脱炭素の観点からマイカー通勤から、公共交通利用に変容を求められている。企業バスの導入も検討されていると思うので、駅ロータリーの改修なども含め改善を図ってはどうか。シェアサイクル事業について、ヘルメットの着用が努力義務になっているので、交通ルールを守らない利用者が増えると、道路交通にも影響が出るため、交通ルールマナーの徹底をしないとインバウンドの事故も出ているので、交通マナーの周知をお願いしたい。

→シェアサイクルについて、交通マナーの周知・徹底は行っていきたい。

利用者の属性は把握できるため、経路の把握から道路環境の整備なども検討可能である

○婦人会古田会長

シェアサイクルの利用者はどのようなになっているのか？

→町外から町内の寺社仏閣などに来られる方が多い

町内の商業施設には設置できていないが、設置すると町内移動も増えると考えている。

○婦人会古田会長

シェアサイクルでの事故時の責任の所在は？

→事業者と協議している

○国保中央病院江嶋部長

箸尾工業団地での怪我等の受け入れも積極的に受け入れて行きたい。

○社協奥西局長

現在、電話受付は1日当たり、15～20件程度の件数。休み明けの電話が多い。

5日前からの予約になっているが、もう少し先の予約を求められている。

○高田土木松田所長

フィーダーの交付申請の時期は間違いでないのか？

→事業年度が10月から9月であるので、交付申請はR7事業年度(R6.10～R7.9)の申請を行うことになる。

○高田土木松田所長

計画・交付申請の内容は諮られるのか？

→事業計画の承認は協議会から国に6月に提出するもので、その計画に基づく交付申請になるので、従来は交付申請時には協議会での審議としていなかったが、今後は申請者が協議会になるため協議をお願いしたい。

○高田土木松田所長

車両のお披露目は？

→お披露目は予定している、委員の皆様にも案内できればと考えている。

→PRの機会なので広く周知されたい

工業団地従業員の交通手段について、事前に周知されていたのか？

→企業募集の際にヒアリングは実施している。相互的に検討していければと考えている。

○奈良県中村主査

車両のダウンサイジングについては、R6 で予定されていたができなかったため、再度補助金のエントリーをしていただき、採択させていただいているので有効に活用してもらえればと思う。

地域公共交通計画変更認定申請について(車両減価償却費等国庫補助金)

→意見・質疑あり 承認

○タクシー協会葛城委員

車両の導入時期を 10 月と予定されており、国や県に補助金申請されるとのことであるが、交付決定がなければ購入できないのか、4 月の事業者選定で間に合うのか、購入年月日は 6 月で問題ないのか？

→県の補助金、国の補助金については手続き上の問題はない。車両購入を考えている事業者とはやりとりをしており、現状では問題ないが、入札手続きの関係上、確約まではもらえていない。ラッピング等の予定もあるため、6 月納車の予定としており、国の補助金では、令和 8 年の 1 月までの納車であれば対象となることもあるので、現状で 10 月の更新予定としている。

地域公共交通利便増進計画変更届出について

→意見・質疑なし承認

報告

シェアサイクル事業の実施について

→意見・質疑なし 承認

○山村会長

広陵町の利用数が少ないが何か特徴は？

→商業施設への設置ができておらず、利用が少なくなっていると思慮。

上牧町・王寺町では商業施設から町内移動が多くなっている。

町外からの移動と町内周遊の 2 側面で考えていきたい。

陣痛タクシーサービス事業の実施について

→意見・質疑なし 承認

事務連絡

○芝課長

いただいたご意見を元に R7 年度事業を実施する。

次回協議会は R6 の決算・事業報告を 5 月中に予定。

(以下余白)